

## 活 用 技 術

平成 23 年度

そば「とよむすめ」の播種適期と積算気温による収穫適期判定のめやす		
[要約]「とよむすめ」の播種適期は平坦地では8月上旬である。収穫適期の判定は、開花最盛期からの積算気温で8月上旬播種では500～550℃、8月中旬播種では450～500℃をめやすとする。		
農業総合研究所作物研究センター 栽培科	連絡先	TEL 0258-35-0836 FAX 0258-35-0021

## [背景・ねらい]

そば「とよむすめ」は新潟県内に広く普及してきたが、播種時期は従来品種に準じて行われている。また、収穫適期の判定は黒化率を用いて行うが、積算気温法による簡易な判定方法も望まれていた。そこで、「とよむすめ」の播種時期が生育収量に与える影響を解明するとともに、積算気温を用いた収穫適期判定技術を確立する。

## [成果の内容・特徴]

- 1 平坦地における「とよむすめ」の収量は8月上旬播種が高く、播種時期が遅くなるほど低下して変動も大きくなる。播種適期は一般的な播種時期（標高 200m 以下の平坦地で8月中～下旬）よりも 10 日程度早い（図 1）。
- 2 8月上旬～中旬に播種した「とよむすめ」の開花期は9月上旬、開花最盛期は9月下旬、成熟期は 10 月中旬～下旬となる。なお、開花最盛期は圃場全体の約 5 割の株で主茎最先端の花房が開花した日である（表 1、図 2）。
- 3 成熟期（黒化率 70～80%）までの積算気温は、開花最盛期の翌日より起算し、8月上旬播種では 500～550℃、8月中旬播種では 450～500℃、8月下旬播種では 400～450℃である（図 2、図 3）。

## [成果の活用面・留意点]

- 1 「とよむすめ」の播種時期と適期収穫のめやすとして利用できる。
- 2 収穫適期や収穫後の乾燥調製方法は平成 19 年度成果「香りに優れ、安定多収栽培のためのそばの収穫時期と仕上げ水分」を参照する。
- 3 開花最盛期の確認方法は、主茎先端の花房を観察し、葉や蕾の発生が無いことを見て最先端の花房であると判断する。
- 4 作物研究センター（長岡市）の普通畑ほ場における試験結果である。また、積算気温による収穫適期判定はめやすとして利用し、黒化率の確認も併せて行う。

[具体的データ]

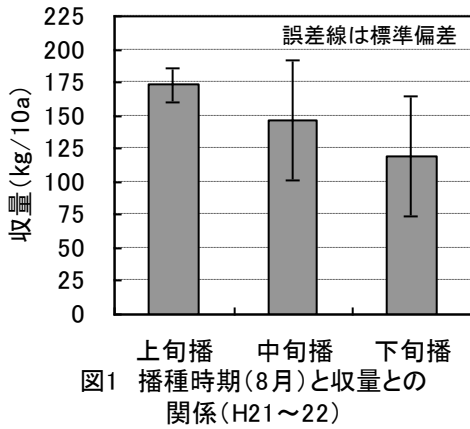


表1 播種時期と生育ステージの関係

播種時期	開花期	開花最盛期	成熟期
8月上旬 (8/6)	9月上旬 (9/5)	9月下旬 (9/21)	10月中旬 (10/19)
8月中旬 (8/14)	9月上旬 (9/10)	9月下旬 (9/26)	10月下旬 (10/23)
8月下旬 (8/25)	9月下旬 (9/22)	10月上旬 (10/7)	11月上旬 (11/3)

注) ( )は平均日、8月中旬播種のみH20を含む3年平均、他はH21~22の2年平均。



図2 開花最盛期の主茎最先端の花房  
注) 葉や蕾の発生が無いことを見て最先端の花房であると判断する。

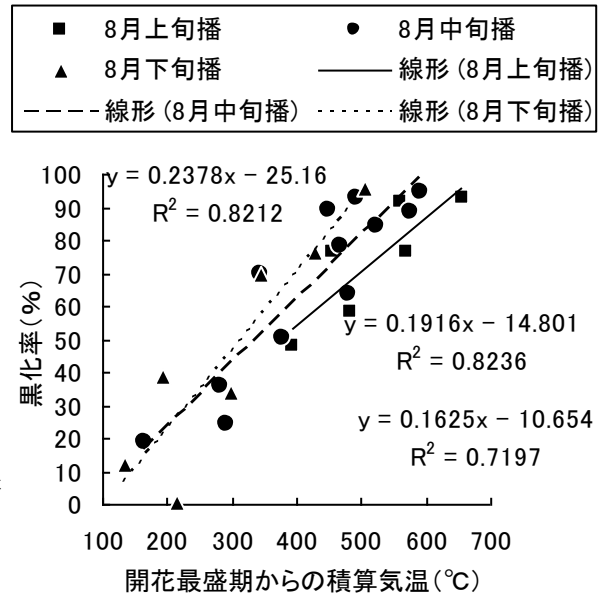


図3 開花盛期からの積算気温と黒化率の推移(H20~22)

[その他]

研究課題名：品質・収量の高位安定化に向けた主要作物の栽培技術の改善  
環境変動リスク軽減に向けた主要作物の安定栽培技術の確立  
予算区分：県単経常  
研究期間：平成20~22年度  
発表論文等：なし